様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8年 6月 15日

群馬県知事　　あて

提出者　　〒379-1204
住　所　群馬県利根郡昭和村森下2080-14

氏　名　ZACROS株式会社　昭和事業所
事業所長　戸部　英治

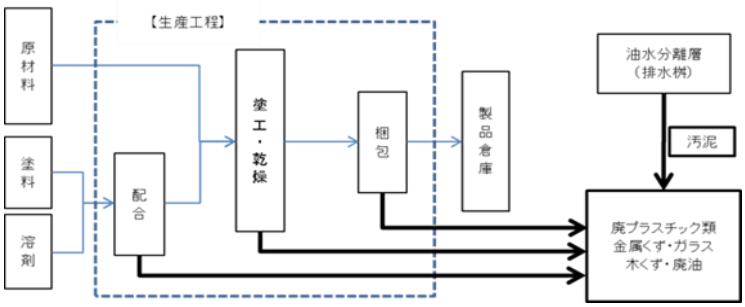
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0278-50-3964

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ZACROS株式会社　昭和事業所
事業場の所在地	群馬県利根郡昭和村森下2080-14
計画期間	令和 8年 4月 1日　～　令和 9年 3月 31日

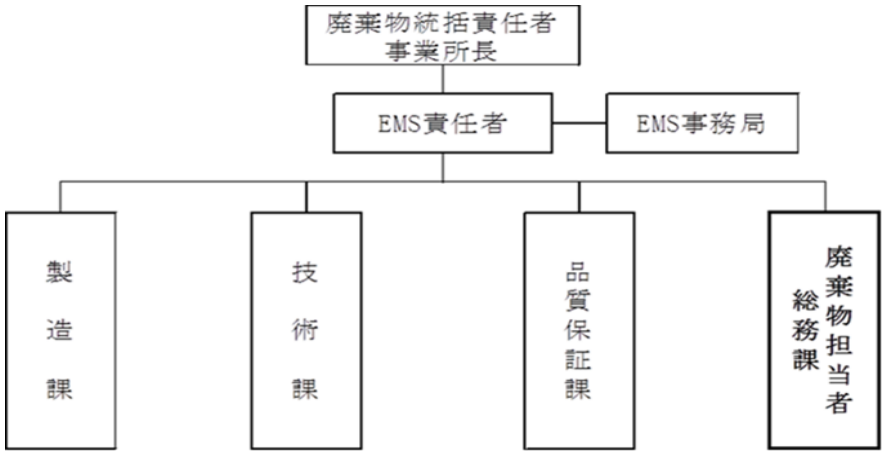
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：プラスチック製品製造業
②事業の規模	生産高：40,112百万円（令和7年度実績）
③従業員数	241名（令和 8年 4月 1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本産業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和7年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
排　出　量	1,315　t	22.4　t

（これまでに実施した取組）
発生抑制：製品歩留向上・作業ミスゼロ化
再生利用：有価売却化（マテリアルリサイクル）

②計画

【目標】令和7年度実績の１％削減

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
排　出　量	1,302　t	22.2　t

（今後実施する予定の取組）
発生抑制：製品歩留向上・作業ミスゼロ化
再生利用：有価物としての売却をさらに推進するとともに、
売却先の拡大を図る（マテリアルリサイクルの推進）
排出量の多い廃プラスチックを中心に削減への取り組みを
実施していく

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
大部分を占める「廃プラスチック類」について、
数種類に分別しており、一部については有価売価を実施

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
基本的には現状を維持し、売却の更なる検討、
新規業者の開拓などを実施してく

木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
31.1　t	103.6　t	2.92　t	10.8　t

木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
30.8　t	102.5　t	2.89　t	10.7　t

廃アルカリ	燃え殻
0.03　t	0.380　t

廃アルカリ	燃え殻
0.03　t	0.376　t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和7年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1,315 t</td><td>22.4 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>231 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>799 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>285 t</td><td>22.4 t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
当事業所ではマテリアルリサイクルを推進し、優良認定業者を中心に再生利用業者への委託を進めてきた。
あわせて、生産量の増加による場内での廃棄物滞留を防止する観点から新規業者の開拓を継続して実施し、委託先の拡充を図ってきた。</td></tr>
</table>

木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
31.1　t	103.6　t	2.9　t	10.8　t
t	8.9　t	t	t
31.1　t	94.7　t	2.9　t	10.8　t
t	t	t	t
t	t	t	t

廃アルカリ	燃え殻
0.03　t	0.38　t
0.03　t	0.38　t
t	t
t	t
t	t

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td colspan="3">【目標】令和7年度実績の１％削減</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃プラスチック類</td><td>廃油</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>全処理委託量</td><td>1,302 t</td><td>22.2 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>195 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>912 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>195 t</td><td>22.2 t</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
基本的にはこれまでの取り組みを継続実施
事業所としてマテリアルリサイクルを推進しているため、
優良認定業者を中心に再生利用業者への委託を進める。
今後も生産量の増加が見込まれることから、場内への廃棄物の
滞留を防止するため、新規業者の開拓を継続的に実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

木くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	汚泥
30.8 t	102.5 t	2.9 t	10.7 t
t	10.0 t	t	t
30.8 t	92.5 t	2.9 t	10.7 t
t	t	t	t
t	t	t	t

廃アルカリ	燃え殻
0.03　t	0.38　t
0.03　t	0.38　t
t	t
t	t
t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。